

2025-2027 年期の SIA 理事会候補者 第 8 選挙区

- 井上祥子, SI/ 中央さくらオンライン



連盟理事候補者の履歴書

氏名: 井上祥子

正会員 国際ソロプチミスト中央さくらオンライン、日本中央リジョン

ソロプチミスト歴

国際ソロプチミスト_____クラブ会長(期日)

(クラブ、リジョン、連盟、国際ソロプチミストにおける過去十年間の重要な奉仕活動について、それらの期日とともに含めてください)

ソロプチミスト歴 国際ソロプチミスト枚方ー中央 (1985年認証) 1985年4月～2022年8月
国際ソロプチミスト中央さくらオンライン(2022年認証) 2022年9月(移籍)～現在

クラブ SI 枚方ー中央 会長 (1989年度 1994年度 2014年度)
SI 中央さくらオンライン 会長 (2023年度)

リジョン 2014～2016 年期 リジョン SOLT 委員会委員長
2016～2018 年期 リジョン 理事会 理事
2018～2020 年期 リジョン メンバーシップ委員会委員長
2020～2022 年期 リジョン メンバーシップ委員会委員長
リジョン オンラインクラブ認証特別委員会委員長

アメリカ連盟 2007～2009 年期 SIA 連盟理事 (第8選挙区スタート時)

2018～2022 年期 SIA メンバーシップ リジョンチェア
2020～2022 年期 SIA Dream Big Campaign 委員会 日本中央リジョンマネージャー

学歴 1964年 広島女学院 高等学校 卒業
1968年 同志社大学文学部英文学科 卒業

職歴: 1972～2012年 医療法人井上産婦人科 理事
1982年～現在 ワイエスサービス有限公司 代表取締役

ソロプチミスト以外の組織における役員/理事/メンバーシップ(過去十年間):

2004～2020年 (公益)枚方市文化国際財団 評議員
2006～2020年 (NPO法人)ひらかた環境ネットワーク会議 理事
2021～2022年 (社福)枚方市社会福祉協議会 評議員

候補者の返答

1. あなたのソロプチミストとしての活動や個人的な活動から、あなたが奉仕活動及び経済的な面の双方でどのように具体的にソロプチミストの使命を支援してきたのかについて教えてください。

30 代後半の頃、社会で仕事以外に可能な活動は？と考え「一人ではできることは限定されるが、奉仕組織の一員としてなら、可能性は大きい」のではと考え、ちょうど地元でソロプチミストクラブ創立の話があり、入会し、ソロプチミスト会員になって、もう 40 年になります。

クラブで会長を数回務め、地元での国際交流や環境問題の活動に参加し、仲間を得て、やりがいを感じる活動を経験しました。入会 10 年目からリジョンの委員会メンバーに入り、最近まで 30 年間休みなく、リジョン委員会や理事会で、なにかしらの新しい課題にチャレンジの機会を得て、日本中央リジョンの立場や動きを知る機会を得ました。それと同時に、国際組織の一員の特権として連盟大会などに多く参加したおかげで、世界各地のソロプチミストと連絡をとりながら日本の会員の資金援助を得て「Sheep Plan in Mongolia」を 2000 年から 5 年かけて実行でき「SI の最優秀プログラム賞」を得たことは忘れられないことです。

17 年ほど前のことです。日本中央リジョンが第 8 選挙区から毎回 連盟理事を出せるようになり、連盟理事の選考を連盟が管理することをスタートさせた最初の期の連盟理事に選出されました。その時は年に数回の連盟理事会は Philadelphia の事務局で開催され、会議の書類も現地で渡されるので、時差に悩まされ、体力的・時間的にも大変でしたが、今は、オンライン会議ですし、書類も前もって、メール配信されます。今後も 現代社会の Technology を利用しつつ、ソロプチミストの効率的な組織運営の可能性を広げていくことになるでしょう。

2. SIA 理事会の一員であるあなたは、理事会で判断を行う際、あなたが選出されたそれぞれの選挙区の代表ではなく、組織全体の代表となります。これは、「～の代表」に対して、「～のための代表」という形で説明されます。時には、ソロプチミストの組織にとって最善の利益ではあるものの、理事の選挙区内では高い支持を得ない判断が行われる必要があるかもしれません。あなたの意思決定プロセスがどのようにして、あなたがソロプチミスト組織にとって最善の利益となる判断を行うことを確実にするのか、教えてください。

国際ソロプチミストが 100 周年を迎える時に、これからの連盟の目的・構造強化に、会員が資金参加を促された Dream Big Campaign の日本中央リジョンマネージャーを務めました。その時にソロプチミストの在り方を考えさせられました。

ソロプチミストは地域との連携支援がまず必須です。同時に、ソロプチミストを今後も良い形で存続させ、その中で活動できるように、会員の高齢化や会員数の減少の現実の中で、会員が組織の一員として何が出来るかを考え、それぞれの考えを発信して調整していくことが、必要だと感じました。組織が発展しなければ、会員もいい活動はできませんし、会員が組織を育てることも可能だと思っています。「一人はみんなの為に。みんなは一人の為に」です。

3. あなたの経歴、訓練、学歴、経験、関心の中で、具体的にどのような点が、SIA 理事会のメンバーとして奉仕するのに適格であることを示していますか？

国際的な組織にいたおかげで、使わないと、忘れてしまう英語は、speaking以外は、何とか基礎力が消えずに、残っていること。

以前からリジョン初で唯一のオンラインクラブ認証を提唱し、2年前に認証実行委員長としてその誕生を担当し、その後 このクラブに移籍したので、オンライン会議や、どんどん進展していくITに囲まれているクラブ生活をしています。

リジョンの理事会や委員長、そして連盟理事や委員長を30年務めてきたおかげで、ソロプチミストの組織を 会員として又、組織の立場の両面から、広く見ることが出来たと思います。

4. SIA が、教育へのアクセスを通じて 50 万人の女性と女兒の夢を応援するという 2021-2031 年の「大きなゴール」を達成できるよう、ご自身の技能や経験をどのように活用されますか？

2007年から2年間の連盟理事の折は、連盟理事の立場が曖昧で、日本の会員の前で話したのは中央リジョンでは無く、他リジョンのリジョン大会のみでしたが、もし、2回目の連盟理事になれば、40年間のソロプチミスト歴を経て、有意義な時間を過ごせた感謝もあり、大きなゴールの為に、私の経験や奉仕への思いが、活かせる機会があれば、出来るだけ会員や仲間へ伝え、組織に残していきたいと思っています。

5. SIA 理事会での任務を希望される理由は何ですか？

2度の連盟理事就任は、まれなことでしょうが、連盟理事会のメンバーでなければ得られない情報と経験をしっかり得て、必要なことを適切に伝えていきたいと思っています。

特に、中央リジョンで、今後、連盟理事を快く務めてくださる方を増やす一助になればという思いが 私の任務の一つと考えています。

「前に道がなくても、誰かが歩けば、後ろに道が出来る」ということです。